

## 平成29年度社会福祉法人白日会事業報告

### I 法人本部拠点事業

#### 1 総論

平成28年3月の社会福祉法改正により、社会福祉法人の公益性と非営利性を強く求められました。法人組織の強化を図るため「社会福祉法人白日会組織及び事務局規程」を制定し、事務局職員を明確にするため事務局長以下6人に辞令を交付しました。

また、社会福祉法人の地域における公益的取組としての責務を果たすため、平成28年11月には法人内に「地域における公益的取組推進委員会」を設置し、平成29年度において、次の公益的取組を実施しました。

- ① 生計困難者レスキュー事業（平成29年6月から）
- ② 認知症カフェ（平成29年7月から毎月第3木曜日に開催）

また、社会福祉法人には法人経営の透明性の確保や高い公益性に基づくガバナンス（組織統治）の確立が要請されており、社会的ルールを遵守し、社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とするガバナンスの整備の一環として、次の取組を行いました。

- ① 白日会ホームページを作成し、法人が運営する事業所及び地域における公益的取組の紹介、並びに法人情報の公表
- ② 白日会公印規程の管理強化及び使用実態に照らした規定内容への改正
- ③ 法人本部経理拠点区分にサービス区分として「公益的取組」の追加
- ④ 照古苑職員旅費規程及びたんぼぼ保育園旅費支給規定を廃止し、新たに白日会旅費規程を制定

#### 2 社会福祉法人白日会の財産状況

別冊 財産目録及び決算報告書のとおり

#### 3 事業

##### (1) 地域における公益的取組推進委員会

構成委員：8人

開催回数：5回

具体的に取組んだ事業

- ① 生計困難者レスキュー事業  
支援件数：10件  
支援内容：金銭支援168,359円、施設所有食材の提供
- ② 認知症カフェ（通称：ひまわりカフェ）  
開催回数：9回（7月から毎月第3木曜日午後2時～午後4時）

##### (2) 監事による監査の実施

日時：平成29年5月30日（火曜日）10:00～

場所：照古苑応接室

### (3) 理事会

すべての議案及び報告事項は承認されました。

#### 第1回通常理事会

日時：平成29年6月5日（月曜日）18：30～

場所：照古苑会議室

#### 議案

第1号議案 平成28年度社会福祉法人白日会事業報告について

第2号議案 平成28年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について

第3号議案 平成29年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

第4号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について

第5号議案 平成29年度資金運用計画について

第6号議案 照古苑ひまわりホーム就業規則の一部改正について

第7号議案 照古苑ひまわりホーム非常勤職員就業規則の一部改正について

第8号議案 照古苑給与規則の一部改正について

第9号議案 照古苑非常勤職員給与規則の一部改正について

第10号議案 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について

第11号議案 理事の利益相反取引の承認について

第12号議案 理事の報酬総額について

第13号議案 監事の報酬総額について

第14号議案 理事候補者の同意について

第15号議案 理事候補者の同意について

第16号議案 理事候補者の同意について

第17号議案 理事候補者の同意について

第18号議案 理事候補者の同意について

第19号議案 理事候補者の同意について

第20号議案 監事候補者の同意について

第21号議案 監事候補者の同意について

第22号議案 定時評議員会の招集等について

#### 報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

#### 第2回通常理事会

日時：平成29年6月20日（火曜日）18：30～

場所：照古苑会議室

#### 議案

第1号議案 理事長の選定について

第2号議案 副理事長の選定について

#### 第3回通常理事会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：平成29年7月27日

## 議案

第1号議案 照古苑B館トイレ増改築工事に係る契約締結方法等について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について

第3号議案 照古苑ひまわりホームデイサービス送迎用車両購入に係る契約締結方法等について

第4号議案 評議員会の決議の目的である事項（議案）の提案等について

## 第4回通常理事会

日時：平成29年9月25日（月曜日）18：30～

場所：照古苑会議室

## 議案

第1号議案 照古苑宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の一部改正について

第2号議案 照古苑資格取得等支援規程の一部改正について

第3号議案 照古苑育児休業・介護休業等に関する規則の一部改正について

第4号議案 たんぽぽ保育園育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

第5号議案 たんぽぽ保育園就業規則の一部改正について

第6号議案 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について

第7号議案 平成29年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算について

第8号議案 平成29年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第9号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について

第10号議案 平成29年度たんぽぽ拠点区分第1次資金収支補正予算について

第11号議案 照古苑C館浴室改修工事に係る契約締結方法等について

第12号議案 照古苑厨房洗浄機購入に係る契約締結方法等について

第13号議案 第2回臨時評議員会の招集等について

## 報告事項

報告第1号 社会福祉法人白日会ホームページ作成に係る契約締結の報告について

報告第2号 照古苑B館トイレ増改築工事に係る契約締結の報告について

報告第3号 照古苑ひまわりホームデイサービス送迎用車両購入に係る契約締結の報告について

## 第5回通常理事会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：平成29年12月12日

## 議案

第1号議案 理事の利益相反取引の承認について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について

第3号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について

第4号議案 評議員会の決議の目的である事項（議案）の提案等について  
第6回通常理事会

日時：平成30年3月13日（火曜日）18：30～

場所：照古苑会議室

議案

第1号議案 平成29年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第5次資金収支補正予算について

第3号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について

第4号議案 平成29年度たんぼぼ拠点区分第2次資金収支補正予算について

第5号議案 平成30年度社会福祉法人白日会事業計画について

第6号議案 平成30年度法人本部拠点区分資金収支予算について

第7号議案 平成30年度照古苑拠点区分資金収支予算について

第8号議案 平成30年度ひまわりホーム拠点区分資金収支予算について

第9号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

第10号議案 平成30年度社会福祉法人白日会資金運用計画について

第11号議案 社会福祉法人白日会定款の変更について

第12号議案 社会福祉法人白日会経理規程の一部改正について

第13号議案 社会福祉法人白日会公印規程の一部改正について

第14号議案 社会福祉法人白日会旅費規程の制定について

第15号議案 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の一部改正について

第16号議案 照古苑給与規則の一部改正について

第17号議案 照古苑非常勤職員給与規則の一部改正について

第18号議案 たんぼぼ保育園給与等支給規則の一部改正について

第19号議案 照古苑就業規則の一部改正について

第20号議案 照古苑ひまわりホーム就業規則の一部改正について

第21号議案 照古苑非常勤職員就業規則の一部改正について

第22号議案 照古苑ひまわりホーム非常勤職員就業規則の一部改正について

第23号議案 たんぼぼ保育園就業規則の一部改正について

第24号議案 たんぼぼ保育園非常勤職員就業規則の一部改正について

第25号議案 照古苑デイサービスセンター運営規程の一部改正について

第26号議案 照古苑ひまわりホームデイサービス運営規程の一部改正について

第27号議案 照古苑宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の一部改正について

第28号議案 照古苑LED照明改修工事に係る契約締結方法等について

第29号議案 照古苑ひまわりホーム介護業務支援システム導入に係る契約締結方法等について

第30号議案 たんぼぼ保育園施設長（園長）の任命及び定年延長について

第31号議案 たんぼぼ保育園副施設長（副園長）の定年延長について

第32号議案 第4回臨時評議員会の招集等について

#### 報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

報告第2号 理事長専決事項の報告について

報告第3号 照古苑C館浴室改修工事に係る契約締結の報告について

報告第4号 照古苑厨房洗浄機購入に係る契約締結の報告について

報告第5号 照古苑ひまわりホーム宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指  
定第1号通所事業（通所型サービスA）の休止について

#### (4) 評議員会

すべての議案は承認されました。

#### 定時評議員会

日時：平成29年6月20日（火曜日）17：00～

場所：照古苑会議室

#### 議案

第1号議案 平成28年度社会福祉法人白日会事業報告について

第2号議案 平成28年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認  
について

第3号議案 平成29年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

第4号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算に  
ついて

第5号議案 理事の報酬総額について

第6号議案 監事の報酬総額について

第7号議案 理事の選任について

第8号議案 理事の選任について

第9号議案 理事の選任について

第10号議案 理事の選任について

第11号議案 理事の選任について

第12号議案 理事の選任について

第13号議案 監事の選任について

第14号議案 監事の選任について

#### 第1回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：平成29年7月26日

#### 議案

第1号議案 照古苑B館トイレ増改築工事に係る契約締結方法等について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について

#### 第2回臨時評議員会

日時：平成29年10月5日（火曜日）15：00～

場所：照古苑会議室

#### 議案

第1号議案 平成29年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第3号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について

第4号議案 平成29年度たんぼぼ拠点区分第1次資金収支補正予算について

第3回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：平成29年12月18日

議案

第1号議案 平成29年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について

第2号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について

第4回臨時評議員会

日時：平成30年3月23日（金曜日）15：00～

場所：照古苑会議室

議案

第1号議案 平成29年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について

第2号議案 平成29年度照古苑拠点区分第5次資金収支補正予算について

第3号議案 平成29年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について

第4号議案 平成29年度たんぼぼ拠点区分第2次資金収支補正予算について

第5号議案 平成30年度社会福祉法人白日会事業計画について

第6号議案 平成30年度法人本部拠点区分資金収支予算について

第7号議案 平成30年度照古苑拠点区分資金収支予算について

第8号議案 平成30年度ひまわりホーム拠点区分資金収支予算について

第9号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

第10号議案 社会福祉法人白日会定款の変更について

## II 照古苑事業報告（照古苑拠点及びひまわりホーム拠点）

### 1 重点目標

#### （1）サービスの質の向上

##### ① 委員会活動

委員会名	構成人数	開催回数
感染管理委員会	9名	10回
安全対策委員会	9名	11回
環境美化委員会	10名	1回

身体拘束の廃止を検討する委員会	9名	11回
じょくそう 褥瘡委員会	8名	11回
看取り検討委員会	6名	9回
研修委員会	9名	12回
照古苑祭実行委員会	14名	9回

## ② 研修実績

### ア 職場内研修

#### i 時間外研修

期日	研修名	参加人数	備考
5月24日	食中毒予防研修	72	全職員対象
6月3日	①栄養管理 ②介護技術向上研修～褥瘡予防の視点から～	24	特定職員対象
6月28日	対人援助職における職業倫理・法令遵守研修	105	全職員対象
7月26日	接遇意識の高め方	108	全職員対象
8月29日	安全対策研修①～リスクの管理・予防策を考える	94	全職員対象
9月27日	クレーム対応と利用者満足	111	全職員対象
10月25日	口腔ケア実践研修～心身の健康につなげるために	56	介護職員対象
11月22日	感染症予防研修～実践編～	103	全職員対象
1月24日	安全対策研修②～リスクの管理・予防策を考える	100	全職員対象
2月21日	介護職に必要な医療知識とお薬について①	19	インフルエンザ蔓延につき特定職員を対象
3月28日	介護職に必要な医療知識とお薬について②	53	介護職員対象

#### ii 時間内研修

期日	研修名	参加人数	備考
----	-----	------	----

5月10日	人事評価研修（前期）	21	副主任以上
5月12日	人事評価研修（前期）	18	副主任以上
7月4日	リーダー研修	18	副主任以上
7月10日	リーダー研修	18	副主任以上
10月3日	人事評価研修（後期）	20	副主任以上
10月6日	人事評価研修（後期）	21	副主任以上

#### イ 外部派遣研修

期日	研修名	参加人数	主催
4月～10月	介護福祉士ファーストステップ研修（15日間）	1	熊本県介護福祉士会
4月15日	熊本県認知症疾患医療センター第49回事例検討会	1	熊本県基幹型認知症疾患医療センター
4月21日	第1回熊本県栄養士会宇城地域事業部研修会	1	熊本県栄養士会
4月23日	スキルアップ研修会	1	熊本県介護福祉士会
4月29日	リスクマネジメントについて研修会	1	熊本県介護福祉士会
5月	介護福祉士「基本研修」（3日間）	2	熊本県介護福祉士会
5月11日	宇土市食生活改善推進員協議会総会及び研修会	1	宇土市
5月17日	熊本県高齢者権利擁護（市町村等管理者及び担当者向け）基礎研修会	2	熊本県
5月23日	第1回熊本県老人福祉施設協議会総会	2	熊本県社会福祉協議会
5月23～25	福祉職員ビジネスマナー研修会（3日間）	3	熊本県社会福祉協議会
5月26日	経営研修会	2	熊本県社会福祉法人経営者協議会
6月3日	熊本県認知症コールセンター第1回事例検討会	1	熊本県
6月～	認知症介護実践者研修（8日間）	1	熊本県
6月10日	阿蘇やまなみ病院見学会・熊本県認知症疾患医療センター第50回事例検討会	1	熊本県基幹型認知症疾患医療センター
6月19日	第1回理事長会総会並びに研修会	1	熊本県介護老人福祉施設理事長会



6月19日	地域包括支援センター職員・市町村担当職員等研修（初任者向け）	3	熊本県
6月20,21	中堅職員キャリアアップ研修会	2	熊本県社会福祉協議会
6月23日	福祉職員レクリエーション研修会	2	熊本県社会福祉協議会
6月27,28	ストレスケア研修会	1	熊本県社会福祉協議会
7月4,5	チームリーダーキャリアアップ研修会	3	熊本県社会福祉協議会
7月10日	成年後見制度利用促進研修会	3	熊本県
7月～	初任者キャリアアップ研修会（4日間）	2	熊本県社会福祉協議会
7月13,14	九州老人福祉施設職員研究大会	6	九州老人福祉施設協議会
7月21日	社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）	6	熊本県社会福祉法人経営者協議会
7月22,23,29,30	熊本県実習指導者養成特別研修：前期	1	熊本県介護福祉士会
7月～9月	認知症介護実践リーダー研修（15日間）	1	天寿園
8月1,2	モチベーションアップ研修会	2	熊本県社会福祉協議会
8月17日 10月26日	熊本県権利擁護推進員養成研修	5	熊本県
8月19日	熊本県認知症疾患医療センター第51回事例検討会	1	熊本県基幹型認知症疾患医療センター
8月19,20	第3回認知症初期集中支援チーム員研修	1	熊本県
8月20日	スキルアップ研修会	1	熊本県介護福祉士会
8月23,24 9月11日	熊本県養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修	3	熊本県
8月24,25 2月6,7	スーパーバイザー養成研修会	2	熊本県社会福祉協議会
8月25日	地域ケア会議司会者（ファシリテーター）養成研修	2	熊本県
8月30日	アンガーマネジメント研修会	2	熊本県社会福祉協議会
8月30日	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	1	熊本労働局職業安定所
8月31日	介護従事者認知症研修会	16	宇土市
9月4日	安全運転管理者講習	1	熊本県安全運転管理者等協議会

9月6日	シルバーヘルパー養成講習	1	熊本県老人クラブ
9月10月	認知症介護実践者研修	1	全国老人福祉施設協議会
9月12,13	モチベーションアップ研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月14日	衛生管理講習会（定期健康診断、ストレスチェック説明会）	1	熊本労働基準監督署
9月20日	女性リーダー養成講座キャリアアップ塾	1	熊本県経営者協会
9月21日	地域連携会研修会	3	宇城総合病院
9月26日	社会福祉法人労務研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月28日	看・看連携会議	1	済生会熊本病院
9月28日	医療関連感染対策ラウンド研修会Ⅱ	1	熊本県宇城保健所
10月2~4	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習	1	全国老人福祉施設協議会
10月3日	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	1	熊本労働局職業安定部 職業対策課
10月15日	高齢者安全運転推進協力者養成事業	2	宇城地区安全運転管理者等協議会
10月17日	認知症介護基礎研修会	1	熊本県社会福祉協議会
10月20日	ユニットケア基礎研修	4	日本ユニットケア推進センター
10月～	女性リーダー養成講座スキルアップ塾（3日間）	1	熊本県経営者協会
10月～	評価者（アセッサー）講習	4	介護プロフェッショナルキャリア段位制度事務局
10月16日	認知症初期集中支援チーム員向けフォローアップ研修会	3	熊本県基幹型認知症患者医療センター
10月～ 11月～	カウンセリング研修会（4日間）	1	熊本県社会福祉協議会
10月24,25	リスクマネジメント研修会	1	熊本県社会福祉協議会
10月25日	在宅医療と介護の多職種連携研修会	1	宇土地区医師会
10月26日	自立支援型ケアマネジメントに向けた地域ケア会議研修（居宅介護支援事業所向け）	1	熊本県
10月28日	熊本県認知症患者医療センター第51回事例検討会	1	熊本県基幹型認知症患者医療センター

10月27日	社会福祉法人会計実務研修	2	熊本県社会福祉協議会
10月28,29	社会福祉士実習指導者講習会	1	熊本県社会福祉士会
10月31日	福祉職員レクリエーション研修会	2	熊本県社会福祉協議会
11月2日	地域包括支援センター職員・市町村担当職員等研修会	3	熊本県
11月3日	生活支援体制整備事業推進セミナー	2	熊本県
11月7日	福祉職員救急法研修会	1	熊本県社会福祉協議会
11月8,9, 15,16	熊本県ユニットケア基礎研修	1	熊本県
11月10日	成年後見制度利用促進研修会	3	熊本県社会福祉協議会
11月13日	福祉施設のための苦情対応セミナー	2	損保ジャパン日本興亜株式会社
11月20日	熊本県栄養士会宇城地域事業部研修会	3	熊本県栄養士会宇城地域事業部
11月20,21	老人福祉施設会計事務研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
11月22日	事務担当者連絡部会城南ブロック会議	2	熊本県老人福祉施設協議会
11月24日	福祉サービス苦情解決研修会	2	熊本県社会福祉協議会
11月25日	こうなる平成30年医療・介護同時改定研修会	2	熊本県介護福祉士会
11月27,28	デイサービスセンター生活相談員研修会	1	全国社会福祉協議会
11月12月	ユニットリーダー研修(8日間)	2	日本ユニットケア推進センター
11月28,29	初任者キャリアアップ研修会	1	熊本県社会福祉協議会
12月2日	自立応援プロジェクト人材育成研修会(多職種向け)	2	熊本地域リハビリテーション支援協議会
12月3,7	看取りケア研修	1	熊本県看護協会
12月12日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	3	熊本県社会福祉法人経営者協議会
12月14日	宇城地域指定難病研修会	1	熊本県宇城保健所
12月17日 1月14日	介護職に対するキャリアアップ研修(基礎編・応用編)	3	株式会社くますま
12月21日	宇土市介護従事者向け地域包括ケア研修	1	宇土市

12月23日	熊本県介護保険施設連絡協議会研究大会	1	熊本県社会福祉協議会
12月～	介護福祉士「基本研修」(4日間)	1	熊本県介護福祉士会
12月12,13	福祉職場OJT推進研修会	1	熊本県社会福祉協議会
12月17日	看取りケア研修	1	熊本県社会福祉協議会
12月26日	技能実習指導員講習会	2	熊本県介護福祉士会
1月15日	生活相談員研修会	1	全国老人福祉施設協議会
1月16日	熊本県介護老人福祉施設理事長会研修会	2	熊本県介護老人福祉施設理事長会
1月18日	生活支援コーディネーター連絡会議	1	熊本県社会福祉協議会
1月20日	熊本県老人福祉施設研究大会	5	熊本県老人福祉施設協議会
1月23,24	職場リーダーの「伝える力」向上研修会	2	熊本県老人福祉施設協議会
1月31日	キャラバン・メイトスキルアップ研修会	1	熊本県
2月5日	医療と介護の連携推進セミナー	2	熊本県
2月6日	宇城圏域認定調査員現任研修	2	熊本県
2月10日	熊本県認知症疾患医療センター第54回事例検討会	1	熊本大学医学部附属病院
2月10,11	アクティビティインストラクター資格認定セミナーin熊本	4	特別養護老人ホーム天寿園
2月11日	熊本県栄養士会災害支援チーム(KDA-DAT)スタッフ育成セミナー	1	熊本県栄養士会
2月14日	熊本県高齢者権利擁護事例研修会	3	熊本県
2月16日	ストレス対処法～セルフケアの実際～	1	熊本産業保健総合支援センター
2月20日	生計困難者レスキュー事業CSW初任者研修会及びフォローアップ研修会	1	熊本県社会福祉協議会
2月22日	福祉サービス苦情解決事業「第三者委員」研修会	3	熊本県運営適正化委員会
2月22日	介護給付適正化ケアプラン点検支援におけるヒアリングの実施	1	宇土市
2月23日	年金委員実務研修会	1	熊本東年金事務所

2月26日	依存症支援者研修会	2	熊本県精神保健福祉センター
3月6日	在宅緩和ケア研修会	1	熊本県宇城保健所
3月7日	介護保険制度改正 2018～特別解説セミナー～	1	(株)ミタカ
3月8日	熊本県ユニットケア基礎研修フォローアップ研修	2	特別養護老人ホームくわのみ荘
3月9日	生活支援アドバイザー派遣実績報告・研修会	2	熊本県
3月13日	医療と介護の連携による自立支援研修会	2	熊本県医師会
3月17日	熊本県介護支援専門員協会宇城支部賛助会員向け特別研修会	1	熊本県介護支援専門員協会
3月21日	認知症介護実践者フォローアップ研修会	1	熊本県

### ③ 安全対策

事故件数は前年度に比べ、照古苑 44.4%、ひまわりホーム 16.0%と大きく増加しました。職員の不注意によるものが多くなっていますが、安全対策委員会の活動により、小さな事故も見逃さないという事故防止の意識の高まりと推測します。

特に、照古苑においては、インシデントの件数が前年度より3倍増していることから窺えます。

平成29年度から、倒れられた状態で発見した場合は「その他」に分類することとしました。（以前は、推測により転倒又は転落等としていました。）

また、市町村報告は、これまで事故による入院としていましたが、医療機関を受診し治療した場合に変更しました。

表1 特養照古苑、照古苑デイ、照古苑ショートの合計事故件数

事故	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
転倒	66	27	51	13	18
転落	20	43	31	38	14
その他	37	38	41	20	67
(骨折)	(2)	(4)	(1)	(0)	(6)
外傷	46	53	60	75	145
薬関係	36	26	22	72	53
食事関係	4	8	11	15	18
離設	2	0	3	0	4

医療関係	1	8	8	10	32
合計	212	203	219	243	351
市町村報告	0	4	0	2	17
インシデント	20	31	44	115	303

表2 ひまわりホーム、ひまわりデイ、ひまわりショートの合計事故件数

事 故	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
転 倒	—	10	8	12	2
転 落	—	15	3	5	0
その他	—	9	3	1	31
(骨折)	—	(1)	(1)	(1)	(1)
外 傷	—	21	3	25	15
薬関係	—	1	4	5	9
食事関係	—	0	1	0	1
離 接	—	1	0	2	0
医療関係	—	0	0	0	0
合計	—	57	22	50	58
市町村報告	—	1	1	2	1
インシデント	—	0	10	3	5

(2) 信頼と協力を得るための情報発信

- ① 広報「照古苑」の毎月発行
- ② ホームページへの新着情報掲載
- ③ 照古苑祭：10月14日（土）開催（雨天により施設内実施）

(3) 人材の確保に向けた取組の強化

① 資格取得支援制度の周知

期間	研修名	参加人数	備考
6月～3月	介護職員実務者研修スクーリング（8日間）	3	通信教育
6月～	熊本県主任介護支援専門員更新研修（8日間）	3	熊本県介護支援専門員協会
6月～9月	熊本県介護支援専門員更新研修（15日間）	4	熊本県介護支援専門員協会

10月～11月	熊本県介護支援専門員更新研修（4日間）	2	熊本県介護支援専門員協会
10月～	熊本県主任介護支援専門員研修（12日間）	1	熊本県介護支援専門員協会
11月	社会福祉施設長資格認定講習課程スクーリング（5日間）	1	全国社会福祉協議会

② 福利厚生等処遇の改善

介護職員処遇改善として、処遇改善加算手当を月額1万円引き上げました。

③ 平成29年度心の健康づくり計画の策定及びストレスチェックの実施を行いました。

ア ストレスチェック

外部機関に委託：MCサポートセンター

ストレスチェック調査票を配布し、ストレスの程度を把握し、メンタルヘルス不調を未然に防止するものです。

対象職員：151人

実施期間：7月31日～8月31日

イ 心の健康づくり計画を独立行政法人労働者健康安全機構に提出し、10万円の助成を受けました。

④ 照古苑職員互助組織「照友会」への支援・連携

委員会名	構成人数	開催回数
照友会	9名	10回

ア 職員旅行への助成を行いました。

イ ソフトボール部活動に助成を行いました。

(4) 照古苑開設40周年の地域への周知

① 広報「照古苑」への照古苑の歩み40年を毎回掲載しました。

② 照古苑祭に40周年の冠を付けて開催しました。

## 2 特別養護老人ホーム照古苑

定員：110人（多床型）

入所者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入所者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員5人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。

入所者の状況において大きな変化は見られないものの、「(6)入所待機者の状況」で分かるように、平成27年度から入所要件が要介護1以上から要介護3以上に変更

されたことから、待機者数が減少してきており、申し込んでから入所までの待機期間が短くなってきています。

(1) 入所者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29年度	18	92	110	87.1	89.2	88.4	4.4	4.2	4.2	3.3	3.8	3.7
H28年度	17	93	110	84.5	88.9	88.2	4.1	4.1	4.1	3.8	4.4	4.1
H27年度	18	92	110	82.8	89.0	87.9	4.1	4.2	4.2	3.6	7.0	6.4
H26年度	21	89	110	81.8	87.7	86.6	3.3	3.9	3.8	3.7	5.3	5.0
H25年度	21	89	110	82.9	87.7	86.8	3.7	4.0	3.9	4.1	5.5	5.2

(2) 入退所の推移

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
退所者数	27 人	22 人	22 人	24 人	28 人
入所者数	27 人	21 人	23 人	24 人	28 人

(3) 新規入所者の状況

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
平均介護度	3.24	4.00	3.96	3.64	4.14
平均年齢	87.2	86.0	87.6	91.3	88.5

(4) 入所前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住 (グループ ホーム等)	その他 (特養他)	合計
H29年度	7 人	4 人	7 人	9 人	0 人	1 人	28 人
H28年度	8 人	3 人	4 人	6 人	1 人	2 人	24 人
H27年度	9 人	2 人	7 人	3 人	0 人	2 人	23 人
H26年度	4 人	4 人	6 人	3 人	3 人	1 人	21 人
H25年度	10 人	5 人	4 人	7 人	1 人	0 人	27 人

(5) 退所の事由



年度	看取り	急変	入院死亡	入院退所	在宅、有料 老人ホーム他	合計
H29年度	11人	3人	3人	11人	0人	28人
H28年度	15人	1人	2人	4人	2人	24人
H27年度	8人	3人	5人	5人	1人	22人
H26年度	12人	4人	1人	3人	2人	22人
H25年度	11人	5人	4人	5人	2人	27人

(6) 入所待機者の状況

年度末 現在	性別 (人)			平均年齢 (歳)			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29年度	33	56	89	81.6	86.6	84.7	3.78	3.05	3.32
H28年度	29	68	97	83.0	87.0	85.8	3.61	3.12	3.26
H27年度	29	67	96	83.3	85.8	85.1	3.62	2.83	3.07
H26年度	38	83	121	83.9	86.5	85.7	3.10	2.87	2.94
H25年度	33	97	130	78.5	85.4	83.7	3.09	2.79	2.87

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	100.0	99.1	98.9	97.9	99.0	98.9	98.0	97.0	97.2	97.1	98.9	98.1	98.3
H28年度	98.3	98.5	99.0	99.4	98.8	99.1	98.3	97.8	98.5	97.9	98.7	98.5	98.6
H27年度	98.1	99.2	98.1	97.5	98.0	98.0	98.0	97.0	97.0	98.3	97.8	97.8	97.9
H26年度	97.7	97.5	97.6	98.8	98.0	99.1	98.1	98.0	98.9	99.4	99.6	98.0	97.1
H25年度	96.2	96.0	97.0	98.7	97.4	97.9	96.4	91.4	97.8	97.8	98.1	98.2	97.3

(8) 安全対策

事故件数

事故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転倒	6	—	—	—	—
転落	11	—	—	—	—
その他	55	—	—	—	—
(骨折)	(5)	—	—	—	—
外傷	130	—	—	—	—

薬関係	52	—	—	—	—
食事関係	18	—	—	—	—
離設	3	—	—	—	—
医療関係	32	—	—	—	—
合計	307	—	—	—	—
市町村報告	11	—	—	—	—
インシデント	295	—	—	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B / A	$\frac{B-S}{A-S}$
H29 年度	458,746,781	28,182,130	327,867,879	71.5	69.6

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

- ① 感染期間：1月31日～2月19日
- ② 感染者：職員9人、入所者5人
- ③ 面会制限：2月27日まで
- ④ 予防投与：関係職員全員と入所者全員に1週間タミフル錠の投与を行いました。

(11) 重点項目への取り組み

- ① 入所者の満足度の向上  
「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績」のとおり事業所全体のスキルアップにつながる研修を実施しました。
- ② 施設内事故の防止  
施設整備として、B館トイレの増改築、C館3課の浴室改修を行いました。  
安全対策委員会（参照：Ⅱ照古苑1重点目標①委員会活動）において、介護事故の原因等を分析し、職員間での情報共有に努めました。
- ③ 個別ケアの推進  
認知症ケアの専門的研修会に「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績」のとおり職員を参加させました。
- ④ 人材の確保及び育成  
新規・中途採用者の育成を目的に、課長をチームリーダーに、主任・副主任をリーダー・サブリーダーとするOJT推進体制を構築し、定期的な全体会議を実施しました。

### 3 照古苑ショートステーション（短期入所）

定員：20人（2人部屋7室、個室6室）

在宅部としてデイサービスとの兼務の職員を配置し、日中は5人体制、夜勤はショートステーション専属で1名配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

#### （1）利用状況

年間の平均稼働率は、前年度と比較すると6.6ポイント減少していますが、前年度は熊本地震の影響で、上半期の毎月の稼働率が80%を超えており、高齢者の緊急避難的な利用が多かったように思われます。

しかし、当年度の利用稼働率としては、前年度を除く5年間の中では1.5～6.4ポイント高い稼働率でした。

利用者の平均介護度は若干減少傾向にありますが、前年度の熊本地震後の利用者の増加によりショートステイの知名度が上がり、高齢者や家族の積極的な活用により、家族介護の負担軽減につながっていることを期待します。

表1 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	68.2	68.2	61.5	73.4	82.7	76.2	68.7	81.3	77.3	86.5	66.8	70.8	73.5
H28年度	82.3	89.4	83.9	85.9	87.6	89.4	78.6	69.2	72.6	75.0	80.0	67.0	80.1
H27年度	75.0	71.5	55.0	60.0	60.0	55.0	61.0	71.2	70.3	74.5	78.3	73.9	67.1
H26年度	57.5	59.0	58.0	66.5	75.0	81.5	82.5	78.0	77.5	72.0	82.0	72.5	71.8
H25年度	88.0	87.0	83.0	74.5	76.5	76.0	72.5	62.0	59.0	56.5	69.0	60.0	72.0

表2 利用者の平均介護度

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
平均介護度	ND	2.5	2.4	2.1	2.0

（要支援1、2を除く。）

#### （2）介護保険事業収益と人件費

（単位：円、%）

年度	介護保険事業収益	人件費（B）	介護保険事業収益に対する人件費の割合

	総額 (A)	うち処遇改善 加算分 (S)		B / A	$\frac{(B-S)}{(A-S)}$
H29 年度	55,050,401	3,298,070	44,075,193	80.1	78.8

### (3) 重点項目への取り組み

#### ① 定期利用の推進と新規利用者の確保

新規利用者の確保に向けて、照古苑の知名度を上げるべく域内の居宅介護支援事業所の訪問を年に2回行いました。

#### ② 介護事故の防止

安全対策委員会（参照：Ⅱ照古苑1重点目標①委員会活動）において、介護事故の原因等を分析し、職員間での情報共有に努めました。

当年度の事故の状況は、次表のとおりでした。

#### 事故件数

事 故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転 倒	5	—	—	—	—
転 落	3	—	—	—	—
その他	4	—	—	—	—
(骨折)	(1)	—	—	—	—
外傷	3	—	—	—	—
薬関係	1	—	—	—	—
食事関係	0	—	—	—	—
離設	0	—	—	—	—
医療関係	0	—	—	—	—
合計	16	—	—	—	—
市町村報告	3	—	—	—	—
インシデント	3	—	—	—	—

#### ③ 接遇マナーの向上

「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績-ア職場内研修」のとおり接遇研修を実施しました。

## 4 照古苑デイサービスセンター（通所介護）

定員：45人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士2名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一

人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

(1) 利用状況

平成30年度からは介護予防通所介護は廃止され、通所介護事業と宇土市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業に移行することから、照古苑では平成28年10月からウェルネス照古苑いきいき道場を開設し、第1号通所事業サービスA及びサービスCを提供しています。

そのため、照古苑としては意図的に、平成29年度には通常規模型の月平均延べ利用者数を750人以下に誘導し、要支援利用者のウェルネス照古苑いきいき道場の利用者の増加を図ってきたところです。

その結果、平成29年度の利用状況は、介護度に大きな変化はなく、1日当たりの平均利用人数は33.1人と大きく減少しましたが、平成30年度は通常規模型への移行により収益の減少は小幅に抑制できる見通しが立ちました。

表1 1日当たりの平均利用人数 単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	34.8	36.0	35.2	34.0	33.3	34.2	34.2	30.7	31.6	30.2	31.9	31.6	33.1
H28年度	30.9	36.5	36.4	38.3	38.0	38.2	36.8	37.4	37.0	37.8	36.5	37.2	36.8
H27年度	37.3	37.0	38.2	37.8	38.0	38.8	39.7	40.1	39.7	37.7	35.4	36.0	38.0
H26年度	37.5	37.5	37.4	35.6	37.0	37.5	38.3	39.8	39.0	32.5	33.8	38.0	37.0
H25年度	35.9	37.7	37.7	37.2	34.8	35.1	33.9	34.7	35.0	35.8	35.0	36.3	35.8

表2 利用者の平均介護度

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
平均介護度	1.4	1.4	1.3	1.6	1.7

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B/A	$\frac{B-S}{A-S}$
H29年度	94,548,606	4,180,020	80,929,342	85.6	84.9

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

### (3) 重点項目への取り組み

#### ① 利用率・稼働率の向上

人材不足が恒常化し、また、要支援の利用者の第1号通所事業への移行期の中で、利用者数を増やしていくことは困難な状況にあります。

そのような状況の中、要支援の利用者は順調にウェルネス照古苑いきいき道場に引継ぎ、要介護の利用者数を減らすことなく、通常規模型の月平均延べ利用者数を750人以下に誘導できた結果、平成30年度からの通常規模型での介護報酬に結びつけることができました。

また、利用者の健康管理に努め、利用中の事故防止に努めました。

当年度の事故の状況は、次表のとおりでした。

事故件数

事故	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
転倒	7	—	—	—	—
転落	0	—	—	—	—
その他	8	—	—	—	—
(骨折)	(0)	—	—	—	—
外傷	12	—	—	—	—
薬関係	0	—	—	—	—
食事関係	0	—	—	—	—
離設	1	—	—	—	—
医療関係	0	—	—	—	—
合計	28	—	—	—	—
市町村報告	3	—	—	—	—
インシデント	5	—	—	—	—

#### ② サービス内容の充実と質の向上

「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績-イ外部派遣研修」のとおり積極的に研修会に参加し、職員のスキルアップに努めました。

#### ③ 対応の個別化

理学療法士2名、看護師2名を配置し、機能向上訓練及び生活動作訓練を利用者個々の状態に合わせて実施しました。

### 4-2 ウェルネス照古苑いきいき道場（宇土市介護予防・日常生活支援総合事業）

要支援の利用者の移行期の中で、前年度からの利用者数の一定の増加は見られましたが、経営的には未だ厳しい状況にあります。開設時から1～2年の赤字運営は想定していましたが、開設1年を経過した年度後半からは利用者数の増加が見られ始め、収益額も改善の傾向にあります。

### (1) サービスA (月～土)

10月から開設日を週3日から週6日に増やし利用者数の増加を図りました。増やした月水金の営業日も1月に入ると順調に利用者数も伸び、収益の改善につなげることができました。

今後は、サービスCを卒業された利用者のサービスA又は自費利用につなげ、収益増を図っていきます。

表1 1日当りの通常利用人数 ( )は自費利用者数

利用者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	0	2.0 (1.1)	—	—	—
要支援1	0	1.6 (1.7)	—	—	—
要支援2	0	0.3 (0.6)	—	—	—
合計	0	3.9 (3.4)	—	—	—

### (2) サービスC (月・水・金)

1年間を通じて利用者数の顕著な増加は見られませんでした。利用者は概ね4ヶ月でサービスCを卒業するサイクルが影響しています。卒業された方々のサービスAへの利用につながるよう努めます。

表2 1日当りの利用人数

利用者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	1.6人	2.8人	—	—	—
要支援1	0.4人	1.0人	—	—	—
要支援2	0.2人	0.6人	—	—	—
合計	2.2人	4.4人	—	—	—

### (3) 重点項目

サービスCを卒業された方々を総合事業のボランティアとして働きかけるという目標を掲げていました。現在、1名の方がボランティアとして、週1回活動されています。

## 5 照古苑居宅介護支援事業所

当事業所は、4名の介護支援専門員(主任介護専門員を含む)を配置して、利用者、家族の立場を理解し、十分なアセスメントや意向調査に基づいた、きめ細かなケアプラン作成に努めました。

また、地域包括支援センターと同じ建物内にあることから、日々の相談業務において、迅速な対応調整等の連携を図りました。

介護保険サービス事業所や行政、医療機関等関係機関とも連携し、利用者の要望に対応しました。

(1) 支援状況

年間支援件数は、前年度から僅かに減少し1,359件でしたが、要介護者への支援件数は年々増加傾向にあります。

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営めるように、地域に根差した質の高い効果的な居宅サービスのケアプランを作成し、管理、実践にあたりました。

表1 年間介護度別の支援件数

年 度	事業 対象 者	要支援			要介護						合計
		1	2	計	1	2	3	4	5	計	
平成29年度	9	63	33	96	627	309	134	148	36	1,254	1,359
平成28年度	0	115	28	143	679	280	133	138	15	1,245	1,388
平成27年度	0	21	26	47	563	172	114	116	47	1,012	1,059
平成26年度	0	117	149	266	493	214	153	115	72	1,047	1,313
平成25年度	0	121	170	291	434	260	148	57	42	941	1,232

表2 登録者数と給付請求件数

年 度	登録者数			支援実績件数（請求分）		
	要介護者	要支援者	事業 対象者	要介護者	要支援者	事業 対象者
平成29年度	114	4	2	1,254	89	9
平成28年度	125	9	—	1,245	143	—
平成27年度	94	3	—	1,012	47	—
平成26年度	122	22	—	1,047	266	—
平成25年度	111	24	—	941	291	—

表3 年間事業者別利用状況

年 度	訪問介護	通所介護	通所リハ	短期入所	福祉用具	その他
平成29年度	73 (5)	154 (14)	14 (1)	52 (1)	77 (3)	42 (0)



平成 28 年度	79 (7)	148 (13)	16 (3)	53 (0)	86 (3)	35 (0)
平成 27 年度	66 (3)	137 (15)	21 (5)	38 (0)	79 (7)	41 (0)
平成 26 年度	56 (6)	115 (19)	24 (5)	49 (4)	77 (10)	45 (0)
平成 25 年度	57 (10)	101 (20)	21 (5)	44 (2)	73 (15)	40 (0)

※ ( ) は要支援者の内訳。

※その他は定期巡回、訪問看護、訪問リハ、居宅療養指導等

## (2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B/A	$\frac{(B-S)}{(A-S)}$
H29 年度	19,768,200	—	16,887,334	85.4	—

## (3) 重点項目への取り組み

### ① 在宅生活を継続するための支援

地域包括支援センター、民生委員、警察、自治会、サービス提供事業所等、地域の関係機関で構成する「SOSネットワーク会議」や「見守りネットワーク会議」への参加を通じて、関係機関との協働を推進し、利用者の安全確保体制の強化につなげました。

### ② 医療機関との連携

医療ニーズの高い利用者には、入退院時のカンファレンス等に積極的に参加し、主治医や訪問看護との連携を密に図り、きめ細かなサービス提供に努めました。

### ③ 関係機関との連携

地域ケア会議に積極的に参加し、個別事例等に対し、多職種による検討や情報共有を図り、問題解決に努めました。

### ④ 職員の資質向上

多様化する介護保険制度に対応できるよう、「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績」のとおり積極的に研修会に参加し、職員のスキルアップに努めました。

## 6 宇土市地域包括支援センター

当センターは、公正・中立の立場から、平成29年度は市から地域支援事業11事業を受託しました。そのうち新たに2事業を受託しました。

また、指定事業であります介護予防支援等としてケアマネジメント業務を行いました。

設置から12年目を迎え、機能役割も多様化し、地域支援体制の構築に努め運営し

ました。

## 1 地域支援事業

### (1) 地域包括支援センター業務（基本4事業）

- ① 総合相談支援事業
- ② 権利擁護事業
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業
- ④ 介護予防ケアマネジメント事業

### (2) 地域ケア会議推進事業

### (3) 認知症総合支援事業

- ① 認知症地域支援・ケア向上推進事業
- ② 認知症サポーター養成事業
- ③ 認知症高齢者見守り事業
- ④ 認知症初期集中支援推進事業（新規）

### (4) 生活支援コーディネーター業務

### (5) 在宅医療・介護連携推進事業（新規）

## 2 介護予防支援等（要支援1・2、事業対象者のケアマネジメント業務）

### (1) 職員配置

平成29年度末時点で、保健師(2人)、看護師(1人)、社会福祉士(4人)、主任介護支援専門員(3人)、認知症支援推進員(社会福祉士1人)、生活支援コーディネーター(保健師1人兼務)、事務員(2人)、計13人を配置し、専門性を強化し運営しました。

### (2) 活動実績

#### ① 地域包括支援センター業務

ア 総合相談支援事業

イ 権利擁護事業

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

上記事業では、地域の民生委員や各種団体を対象に幅広く啓発を行い、「地域支えあい」「住民主体のコミュニティ形成」の大切さを伝えました。

支援困難事例には、チーム協働、関係機関と連携し対象者の方の安全な生活の実現のため対応しました。

#### ② 地域ケア会議推進事業

地域ケア会議は大きく分け2種類あります。

1つは地域課題の抽出と自立支援に向けた会議で月1回定期開催。

地域の居宅介護支援事業所等から事例提供してもらい、多職種が助言者となり1回で3件検討します。

もう1つが個別事例のケース会議で、複雑な問題を抱えた対象者の支援関係者

や必要な機関が集まり情報共有や支援方針の検討を行う問題解決機能を備えたものです。平成29年度は個別事例13事例、延べ19回開催しました。

③ 認知症総合支援事業

- ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業
- イ 認知症サポーター養成事業
- ウ 認知症高齢者見守り事業
- エ 認知症初期集中支援推進事業（新規）

認知症になっても住みなれた地域で生活を継続するため、医療・介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、効果的な支援を行うことが重要になります。

認知症関連事業においては、市民向けフォーラムの開催、サポーター養成講座やキャラバンメイト（講座の講師役）のフォローアップ研修、認知症高齢者SOSネットワークの啓発を行ってきました。

また、新規の「初期集中支援チーム」では、認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問、観察、評価、家族支援等の支援を月1回のチーム員会議で協議し、包括的、集中的に行い、自立生活のサポートに努めました。

④ 生活支援コーディネーター業務

生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務（年間88件）や、資源開発やネットワーク構築によるコーディネート機能を果たしました。

⑤ 在宅医療・介護連携推進事業（新規）

8月から市より受託。「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、相談の受付、連携調整、情報提供等を行いました。

また、出前講座等により、地域住民に対し当該事業内容の理解促進や相談窓口の周知に努めました。

相談支援の件数としては月平均11.7件、医療機関や住民等から相談を受け対応致しました。

⑥ 介護予防支援等（事業対象者、要支援1・2のマネジメント業務）

年間の請求実績は要支援1・2が3,929件、事業対象者が446件、年間合計件数は4,375件でした。センターが直接対応したものは2,443件、居宅介護支援事業所への委託は1,932件でした。

(3) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B/A	$\frac{(B-S)}{(A-S)}$
H29年度	59,412,500	—	55,611,149	93.6	—

#### (4) 総括

平成29年度の包括支援センター全体の相談対応件数は、表1の活動実績を見ると、7,171件でした。総件数としては前年度と大きな増減はありませんが、初回相談が235件、月平均19件弱が初回相談という状況であり、包括支援センターに求められる役割機能も増え、地域に定着してきていることがうかがえます。

平成18年に市から委託を受け12年が経過し、高齢者世帯の増加、核家族化、若い世代の就労問題など暮らしやニーズも多様化しています。そういった中で、包括支援センターが受ける相談も増加・多様化し、より機能強化、質の向上が求められていることを実感しています。

今後は、「地域包括ケア」を念頭に、「地域の中でその人らしくできる限り生活し続け、また、地域資源を有効に活用」していくため、地域包括支援センターとしてもニーズに応じた適切な支援調整を行い、「予防」や「地域見守り」の意識づくり（啓発）に行政、関係機関と連携し支援に努めてまいります。

表1 活動実績

年度	活動形態			合計	合計のうち 初回相談
	電話件数	来所件数	訪問件数		
平成29年度	2,559	345	4,267	7,171	235
平成28年度	1,688	270	3,579	7,256	275
平成27年度	1,581	220	5,084	6,885	200
平成26年度	2,907	407	5,132	8,446	238
平成25年度	2,811	404	4,676	7,891	—

#### 7 照古苑 ひまわりホーム（地域密着型指定介護老人福祉施設）

定員：29人（ユニット型個室）

入居者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入居者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員2人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。

入居者の状況において大きな変化は見られないものの、特別養護老人ホーム照古苑と同様に「入居待機者の状況」は、平成27年度から入居要件が要介護1以上から要介護3以上に変更されたことから、待機者数が減少してきており、申し込んでから入居までの待機期間が短くなってきています。

(1) 入居者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29年度	2	27	29	87.0	90.1	89.9	3.0	4.0	4.0	2.37	2.38	2.37
H28年度	3	26	29	86.3	91.1	90.4	3.5	3.7	3.7	2.14	2.20	2.19
H27年度	3	26	29	83.7	89.6	89.0	4.0	3.6	3.7	1.69	1.67	1.67
H26年度	5	24	29	78.4	88.0	86.3	3.4	3.4	3.4	1.12	1.08	1.08

(2) 入退居の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
退居者数	10 人	8 人	7 人	11 人	—
入居者数	11 人	8 人	7 人	10 人	—

(3) 新規入居者の状況

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平均介護度	3.6	3.4	3.4	4.4	—
平均年齢	86.6	88.5	88.7	86.0	—

(4) 入居前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住 (グループ ホーム等)	その他 (特養他)	合計
H29年度	2 人	2 人	1 人	2 人	2 人	1 人	10 人
H28年度	1 人	0 人	0 人	1 人	0 人	5 人	7 人
H27年度	1 人	1 人	1 人	2 人	0 人	3 人	8 人
H26年度	0 人	1 人	6 人	1 人	2 人	1 人	11 人

(5) 退居の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退居	在宅、有料 老人ホーム他	合計
----	-----	----	------	------	-----------------	----

H29年度	3人	1人	1人	5人	1人	11人
H28年度	2人	0人	1人	2人	2人	7人
H27年度	2人	0人	0人	5人	1人	8人
H26年度	2人	0人	2人	5人	1人	10人

(6) 入居待機者の状況

年度末 現在	性別(人)			平均年齢(歳)			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29年度	6	18	24	86.0	78.6	82.3	3.5	2.8	3.2
H28年度	4	23	27	92.5	85.8	89.2	3.0	3.7	3.4
H27年度	7	21	28	83.0	86.5	84.8	4.0	3.4	3.7
H26年度	8	26	34	—	—	85.2	—	—	2.9

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	97.2	98.7	97.1	98.1	97.2	97.2	94.7	94.6	98.9	96.3	97.4	100.0	97.3
H28年度	100.0	100.8	102.8	100.0	100.0	100.0	98.8	97.2	95.1	99.3	99.0	99.4	99.3
H27年度	97.8	98.4	97.7	100.0	98.8	99.4	98.1	99.0	93.9	98.8	99.5	100.0	98.4
H26年度	91.4	97.4	95.0	98.1	97.2	94.9	99.4	100.0	97.3	96.7	98.1	95.7	96.8

(8) 安全対策

事故件数

事故	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
転倒	1	—	—	—	—
転落	0	—	—	—	—
その他	25	—	—	—	—
(骨折)	(0)	—	—	—	—
外傷	14	—	—	—	—
薬関係	7	—	—	—	—
食事関係	1	—	—	—	—
離設	0	—	—	—	—
医療関係	0	—	—	—	—

合計	48	—	—	—	—
市町村報告	0	—	—	—	—
インシデント	3	—	—	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B / A	$\frac{(B-S)}{(A-S)}$
H29 年度	135,924,509	7,711,130	117,066,706	86.1	85.3

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

ありませんでした。

(11) 重点項目への取り組み

① 入居者の満足度の向上

「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績」のとおり事業所全体のスキルアップにつながる研修を実施しました。

② 施設内事故の防止

安全対策委員会（参照：Ⅱ照古苑1重点目標①委員会活動）において、介護事故の原因等を分析し、職員間での情報共有に努めました。

③ 個別ケアの推進

ユニットケアの専門的研修会に「Ⅱ照古苑1重点目標②研修実績」のとおり職員を参加させました。

24時間シート（個別日課表）を活用することで、個別ケアを基本においた介護サービスの充実につなげることができました。

また、ユニットケアの特性を活かし、ユニットごとに工夫をしながら入居者にあったりハビリやレクリエーションに取り組むことができました。

④ 人材の確保及び育成

新規・中途採用者の育成を目的に、課長をチームリーダーに、主任・副主任をリーダー・サブリーダーとするOJT推進体制を構築し、定期的な全体会議を実施しました。

8 照古苑ひまわりホームショートステイ（短期入所）

定員：10人（ユニット型個室）

日中は3人体制、夜勤はフロアごとに1名を配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

(1) 利用状況

前年度の稼働率は、熊本地震による高齢者の緊急避難的な利用が多かったが、当年度の稼働率は前年度を上回る85.5%の利用がありました。

地域の居宅介護支援事業所への利用案内など地道な活動や開設から4年半による知名度上昇等によるものと考えます。

高齢者や家族の積極的な活用により、家族介護の負担軽減につながっていることを期待します。

表1 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	87.0	89.3	84.0	88.0	88.0	83.5	82.5	80.6	84.8	75.8	85.0	87.7	85.5
H28年度	92.6	102.9	78.5	87.5	77.0	78.6	82.2	79.6	79.3	69.6	93.5	95.8	84.8
H27年度	69.3	62.2	61.0	64.5	62.2	48.7	61.6	63.0	65.4	71.9	67.5	76.1	64.5
H26年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
平均介護度	2.6	1.9	2.1	2.2	—

(要支援1、2を除く。)

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B/A	$\frac{B-S}{A-S}$
H29年度	38,844,497	2,139,050	34,513,846	88.9	88.2

(3) 重点項目への取り組み

① 定期利用の推進と新規利用者の確保

新規利用者の確保に向けて、照古苑ひまわりホームの知名度を上げるべく域内の居宅介護支援事業所の訪問を定期的に行いました。

② 介護事故の防止



安全対策委員会（参照：Ⅱ照古苑 1 重点目標①委員会活動）において、介護事故の原因等を分析し、職員間での情報共有に努めました。

当年度の事故の状況は、次表のとおりでした。

事故件数

事 故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転 倒	0	—	—	—	—
転 落	0	—	—	—	—
その他	5	—	—	—	—
(骨折)	(1)	—	—	—	—
外傷	1	—	—	—	—
薬関係	1	—	—	—	—
食事関係	0	—	—	—	—
離設	0	—	—	—	—
医療関係	0	—	—	—	—
合計	7	—	—	—	—
市町村報告	1	—	—	—	—
インシデント	1	—	—	—	—

### ③ 接遇マナーの向上

「Ⅱ照古苑 1 重点目標②研修実績-ア職場内研修」のとおり接遇研修を実施しました。

## 9 照古苑ひまわりホームデイサービス

(通所介護、宇土市介護予防・日常生活支援総合事業)

定員：25人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

### (1) 利用状況

デイサービスは、4月から定員を25名に増員し、年間利用者数も前年度より1日当たり3.7人増え、1日平均利用者数は17.6人でした。収益的にも大きく伸びています。

また、総合事業の通所型サービスAを定員15名で4月からスタートしました。月水金の週3日を営業日としましたが、利用者の低迷もあり水曜日だけの週1日営

業としました。また、同一室内での通常デイサービスと総合事業第1号通所事業の併用は事故につながる危険性もあるため、平成29年度限りでの廃止を予定しています。

① デイサービス

表1 1日当たりの平均利用人数 単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H29年度	15.8	16.3	16.5	17.9	17.8	17.4	19.2	19.8	18.5	16.8	18.0	17.0	17.6
H28年度	11.6	12.7	12.4	13.4	13.9	13.7	14.0	13.9	14.1	14.2	16.2	16.3	13.9
H27年度	11.2	11.5	10.1	9.6	10.8	11.1	11.7	11.8	11.3	10.2	10.6	10.5	10.9
H26年度	3.5	4.1	4.8	4.9	4.9	5.5	6.6	7.8	7.8	7.3	9.2	10.5	6.4

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
平均介護度	1.8	1.8	1.5	1.6	—

② 介護予防・日常生活支援総合事業（サービスA）

1日当りの通常利用人数（）は自費利用者数

利用者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	—	0.9 (0.5)	—	—	—
要支援1	—	2.0 (0.6)	—	—	—
要支援2	—	1.1 (1.1)	—	—	—
合計	—	4.0 (2.2)	—	—	—

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	介護保険事業収益		人件費 (B)	介護保険事業収益に対する人件費の割合	
	総額 (A)	うち処遇改善加算分 (S)		B/A	$\frac{(B-S)}{(A-S)}$
H29年度	46,226,279	2,217,790	34,071,631	73.7	72.4

(3) 重点項目への取り組み

① 利用率・稼働率の向上

利用者の健康管理に努め、利用中の事故防止に努めました。

事故件数

事故	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度



5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
計	113	113	113	114	116	116	116	114	116	116	118	118	1,383

(2) 職員

① 職員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
平成29年度	14人	14人	14人	13人
平成28年度	13人	14人	13人	14人
平成27年度	13人	13人	13人	13人

② 職員配置

職名	正規職員	非正規職員	計
園長	1	0	1人
副園長	1	0	1人
主任保育士	1	0	1人
副主任保育士	1	0	1人
保育士	7	9	16人
保育助手	0	1	1人
看護師	0	1	1人
栄養士	1	0	1人
調理員	1	2	3人
事務員	1	0	1人

(3) 行事等の開催

主な行事等の開催状況

実施年月日		行事名
4月	1日	入園式
	20日	園医健康診断
	22日	お見知り遠足
5月	27日	未満児保育参加
	27日	以上児保育参観
6月	1日	歯科検診
	3日	プール開き
7月	7日	七夕まつり
	5日	花園小学校七夕まつり交流会

	14日	年長児お泊まり保育（14・15日）
8月	4日	心療病院合同盆踊り
	7日	花園小学校交流会
	10日	カスペル人形劇観覧（孫悟空）
9月	14日	園児検尿検査
10月	7日	運動会
	12日	年長児車両基地見学
	14日	照古苑祭以上児参加
	25日	園医健康診断会
	27日	花園小学校花植交流
11月	10日	花園小学校おもちゃ遊び交流会
12月	2日	発表会
	14日	餅つき交流会
	21日	クリスマス会
1月	11日	餅やき
	20日	初釜
2月	2日	節分
	10日	未満児保育参加・以上児保育参観
	22日	花園小学校1日入学
3月	2日	おひなまつり
	8日	パレット人形劇観覧（桃太郎）
	9日	お別れ遠足
	17日	30年度入園説明会
	24日	卒園式

#### （4）地域連携

##### 地域との関わりの状況

実施月	地域との関わり
5月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
6月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
7月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
8月	心療病院合同盆踊り
	子育て支援の親子人形劇観覧
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問

9月	各城中学校より3名体験実習
	運動会リハーサルにぬくもり・ひまわりホームの方をお招きする
10月	照古苑祭へ年長児 運動会で踊った曲を披露
	心療病院文化祭に出演
11月	子育て支援開催
	発表会リハーサルにぬくもり・ひまわりさんご招待
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
12月	初釜練習時ぬくもり・ひまわりご招待
	子育て支援開催
	餅つき 地域老人会ご招待
1月	ぬくもり・ひまわりホームの方初釜ご招待(インフルエンザ流行のため不参加)
2月	子育て支援親子 人形劇観覧ご招待
3月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問

#### (5) 災害対策

##### 避難訓練の状況

実施月	避難訓練		
4月	災害時の説明・ベルの音実施	10月	火災避難訓練・消防訓練(通報・消火)
5月	火災避難訓練	11月	地震・火災避難訓練
6月	火災避難訓練・不審者訓練	12月	火災避難訓練
7月	地震避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練	2月	地震避難訓練
9月	地震避難訓練	3月	地震・津波避難訓練

#### (6) 人材育成

職員個人のスキルアップ及び保育園全体の組織力向上等を目的として、園内研修を実施するとともに、各種園外での研修に積極的に参加しました。

##### ① 園内研修の状況

月 日	園内研修名	参加人数
3月	全職員 ・ 保育課程 ・ 危機管理マニュアル	30名
毎月	運営委員会	各9名
年3回	総括 ・ 課題を持つ子どもについて	各9名
年6回	福岡コダーイ芸術教育研究所より来園	各7名
5.6.7.9.10.1月	講師 川内先生勉強会 (以上児・未満児別)	～ 8名

10月 11月	福岡コダーイ教育研究所報告会 のぞみ保育園公開保育研修 若竹保育園公開保育研修	各9名
6月22日 23日	全職員 宇城消防署員 救急蘇生法 2班	33名
6月20日	福岡市 春日セミナー報告会	10名

② 園外研修の状況

実施月	園外研修名	参加人数
年6回	宇土市保育連盟年齢別研修会 (園長・主任・給食・年齢別リーダー各7名)	7名
年6回	福岡芸術教育研究所 園長・主任研修会	2名
5月・1月	宇土市保育連盟総会時 講演会 各5名	10名
年7回	熊本県社会福祉協議会主催研修会	7名
年8回	熊本県保育協会主催研修会 各1～2名	11名
年6回	熊本県保育協議会	6名
6月	福岡市 春日セミナー研修6 / 3～6 / 4	4名
9月	のぞみ保育園公開保育見学研修	3名
10月	若竹保育園公開保育見学研修	
11月	若竹保育園公開保育見学研修	

(7) 短時間保育及び延長保育

① 短時間保育の状況

- ・保護者の短時間就労
- ・短時間保育 午前9時～17時の預かり
- ・29年度短時間保育利用者数総数・・・421名

(2) 延長保育の状況

- ・開所時間 午前7時～午後7時
- ・保育時間 午前7時～午後6時
- ・延長保育 午後6時～午後7時
- ・29年度延長保育利用者総数 … 2,697名

2 五色山学童クラブ

(1) 学童クラブの運営

① 定員 50人

② 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	222

2年生	15	15	15	15	15	13	12	11	11	11	11	11	155
3年生	19	19	19	19	19	19	19	18	18	16	16	15	216
4年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	54	54	54	54	54	52	50	48	48	46	46	44	604

(2) 職員

指導員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
平成29年度		4人		4人
平成28年度		4人		4人
平成27年度		4人		4人

(3) 行事等の開催

① 主な行事等の開催状況

実施年月日	行事・遊び
4月	1日 入所式
	22日 お見知り遠足
6月	26日 七夕まつり会
7月	19日 夏休み前保護者会懇談会
	24日 うちわ制作
	25日 プール開き
	28日 スイカ割り
8月	4日 心療病院合同盆踊り
	10日 カスペル人形劇観覧
	18日 バス旅行 (天草シードーナツ)
	21日 絵手紙教室 (ほおずき)
	25日 お楽しみビンゴ大会・産交バス (サンタさん来園)
10月	7日 たんぽぽ保育園運動会
	23日 ハロウィンパーティー
12月	25日 クリスマス会 ・読み聞かせ
	26日 民生委員さんとの交流会 (お手玉・あやとり等)
1月	4日 松山神社初詣
3月	16日 学童入所説明会



	24日	退所式
	28日	お別れ会（カレー会）

② その他の行事

ボランティアの方の読み聞かせ

5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月
----------------------------------

火災避難訓練	8月（1回）
英語教室	2月を除く各月
茶の湯	6月・7月・9月・11月・12月・2月・3月

#### IV 事業報告書の附属明細書

平成29年度事業報告書には、定款第34条第1項第2号に規定する附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しないこととしました。